



令和7年4月15日

東村山市立東村山第二中学校

# 若 樹

第262号



【校長より】

荒木忍 校長の後任として、令和7年4月1日に校長に着任いたしました萩原聡明（はぎわら としあき）と申します。歴史ある東村山第二中学校の第十九代校長としての責任を受け止めるとともに、未来ある生徒との充実した、活気あふれる学校生活を大変楽しみに着任いたしました。3月までは練馬区立開進第三中学校に勤務しておりました。

さて、桜舞い散る中、令和7年4月7日に始業式を、翌日8日には入学式を挙行いたしました。

温かく見守っていただき、誠にありがとうございました。始業式・入学式で校長が話した式辞の一部を紹介します。

## 始業式 校長講話

2、3年生の皆さん、進級おめでとうございます。そして、1年生の入学式を明日に控え、どうぞ、この後の準備などもよろしくお願いいたします。

さて、いろいろな事を考えたり思ったりしながら、今日の日を迎えていることと思いますが、今年度のスタートにあたり、様々な先入観を捨ててみてはどうでしょうか、というお話をします。

これまでの付き合いの中で、Aさんはこんな人、Bさんはあんな人、そして自分はこんな人、という思いや考えをそれぞれもっていると思います。しかし、それが新しいスタートにとっては邪魔になったり妨げになったりすることが、実は多いのです。皆さんがどれだけ先入観というものに支配されているか簡単なテストがあります。

「ドクター・スミスは、アメリカのコロラド州立病院に勤務する腕利きの外科医。仕事中は、常に冷静沈着、大胆かつ慎重で、州知事にまで信頼が厚い。ドクター・スミスが夜勤をしていたある日、緊急外来の電話が鳴った。交通事故のけが人を搬送するので執刀してほしいという。父親が息子と一緒にドライブ中、ハンドル操作を誤り谷へ転落、車は大破、子供が重体だと救急隊員は告げた。20分後、重体の子供が病院に運ばれてきた。その顔を見てドクター・スミスはアッと驚き、茫然自失となった。その子は、ドクター・スミスの息子だったのだ。」

さて皆さんは、この話を聞いておかしいと思いませんか。この話は成り立たないと思いませんか。そうです。「なぜ、お父さんが2人いるのか」と感じた人が多いのではないのでしょうか。

実は皆さんの中に「お医者さんは男性になるものだ」という先入観があるかどうかをテストしたのです。

女医さんは、テレビドラマになるほど未だに限られた存在かもしれません。そうした社会的な状況が皆さんの考えや見方を狭めてしまっているとしたら、どうでしょうか。先入観にとらわれることは、固定概念を強め、新しい見方や考え方を遠ざけてしまうことにもつながります。皆さんが新しく自分を高めよう、変えようと考えている4月に、ぜひ様々な先入観を捨てて、透き通った視点で友達やクラスを見直してみると、新しい発見がたくさん見つかるかもしれません。

## 入学式 校長式辞

学校の門をくぐると、色とりどりのチューリップがきれいに咲いています。校庭の桜の木も、美しく色づき、本日の入学式をお祝いしてくれているようです。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんは、今日から東村山第二中学校の生徒です。

在校生、教職員一同が皆さんの入学を楽しみに待っていました。これからの毎日と一緒に楽しく過ごしていきましょう。

皆さんは先月、小学校を卒業するまでは「児童」と呼ばれていましたが、今日からは「生徒」になります。呼び方が変わり、標準服となって、何となく成長したような、大人に近づいたような気がしているのではないのでしょうか。今日からは、中学生としての生活が始まります。

本校は東村山市内で最も多くの生徒が通う中学校であり、より多くの仲間と出会えることができます。

また、東村山第二中学校は「一人一人を大切にできる学校」です。安心して充実した中学校生活を送ってください。

保護者の皆様、本日は、お子様のご入学おめでとうございます。心から、およろこび申し上げます。

教職員一同、大切なお子さまをお預かりするという重大な責任を果たすために、全力をあげて努力する決意しております。

現代社会は、さまざまな課題を抱え、教育現場にも困難な課題が多くあります。学校と家庭が力を合わせ、子どもを取り巻いている私たち大人の責任として、これらの課題に対処する必要があると強く感じています。大切なお子様のため、学校の教育活動にぜひともご協力くださいますようお願いいたします。

さて、新入生の皆さんには、充実した学校生活を送ってほしいと願っています。そこで、二つのことをお話します。

一つは、「進んで学ぶ」ことです。中学校では、教科ごとに先生が替わり、様々な教科の授業を通して、より専門的に学ぶことができます。中学校での学習を進めていく上で、一番大切なことは、主体的に授業に参加し、自ら学ぶ姿勢をもつことです。その上で、友達と伝え合い、支え合い、学び合っていくことで、さらに、学ぶ力を高めていってください。

もう一つは、「感謝の心」です。義務教育最後の三年間です。皆さんをここまで育ててくれた家族の愛を決して忘れないでください。

今日の喜びと決意を大切に、「進んで学ぶ」、そして「感謝の心」をもって明日から頑張ってください。

校長 萩原 聡明

## 【SDG s について】

今年度も学校だよりにて、SDG s について掲載していきます。

SDG s (Sustainable Development Goals) とは、持続可能な開発目標のことをいいます。2015年の国連サミットで採択され、2030年までの達成を目指す国際社会の共通目標です。環境、社会、経済に関する17の目標、169のターゲットがあり、「誰ひとり取り残されない」を理念にしているものです。本校では、全ての教育活動においてSDG s を推進します。



## 【学校生活の様子】

始業式・着任式 2年生7学級、3年生6学級、八組4学級（新入生込み）の編成で新年度をスタートしました。進級おめでとうございます。



入学式 新入生217名、6学級編成となりました。ご入学おめでとうございます。



## 就学援助制度のお知らせ

先日「令和7年度の就学援助制度のお知らせ」を配付しました。この制度をご利用される方は、毎年度申請が必要です。内容を確認のうえ申請してください。

◆申請・受付場所：東村山市教育委員会教育部学務課（東村山市役所いきいきプラザ4階）

※郵送でも申請できます。

◆受付期間：令和7年4月7日(月)～令和7年5月30日(金)8:30～17:00（土・日曜日を除く）

※6月以降も受付を行っていますが、申請した月からの費用が支給対象になります。

←市ホームページ就学援助制度のQRコード

